

地域スポーツにおける会費の在り方について

1. 適正な額の会費の保障

【課題】

- ・ 学校の運動部活動においては、部費などとして、一定の金額を部員である生徒から集めている。ただし、教員が指導を担っているため指導料が生じず、比較的低廉な額となっている。今後、中学校等の生徒が、地域においてスポーツ活動に参加する際には、所属するスポーツ団体等に会費を支払うこととなるが、学校の運動部活動の部費と比べて金額が上がることが想定される。

自分が所属する地域のスポーツ団体等に対して会費を支払うことは、スポーツ団体等が継続的・安定的にスポーツ活動の機会を提供していくために必要なことであるが、会費が保護者にとって大きな負担となるような額となると、スポーツ活動に参加することを躊躇してしまったり、諦めてしまったりすることが生じる恐れがある。

- ・ 家庭の経済状況にかかわらず、会費の負担自体や部費と比べて金額が上がることに強い抵抗感を示す保護者も想定され、保護者の理解を得ていく必要がある。

【対応策】

- ・ 地域のスポーツ団体等の会費が、保護者にとって大きな負担とならないよう、中学校等の生徒を対象とするスポーツ活動を行う団体等に対して、国や地方自治体から支援を行うことや、学校等の施設について低廉な額での利用を認めることなどを行う必要があるのではないか。

また、地域のスポーツ団体等が、地元の企業等の協力を得て、企業等が有する運動施設の利用やスポーツ用具の寄付等の支援を受けられる体制を整備することなども考えられるのではないか。

- ・ 地域のスポーツ活動に参加する生徒やその保護者、地域住民について、一方的にサービスを享受する消費者、受益者という立場ではなく、地域スポーツ団体の運営者や指導者等と共に地域において質の高いスポーツ活動を維持し、より良い環境をつくっていく一員であるという意識を醸成していく必要があるのではないか。

地域のスポーツ団体等の会費は、サービスの対価という趣旨だけでなく、地域で活動するスポーツ団体等の運営を担う一員として分担するものであるという意識を醸成していく必要があるのではないか。

そのため、例えば多世代が会員となっているスポーツ団体では、全体の会費収入も

活用して中学校等の生徒をはじめとする児童生徒の会費は低額なものとすることや、生徒やその保護者の代表者も、所属するスポーツ団体等の運営に積極的に参画できるようにするなどの取組みを進めることが考えられるのではないか。

2. 経済的に困窮する家庭の生徒への支援

【課題】

- ・ 経済的に困窮する家庭においては、地域のスポーツ団体等への会費を支払うことが難しく、スポーツ活動に参加できないことも想定される。家庭の経済状況等にかかわらず、誰でもスポーツに親しむ機会を確保することは重要な課題である。

【対応策】

- ・ 経済的に困窮する家庭の生徒が、経済的な事情からスポーツ活動に参加することを断念してしまうことは避けなければならない。
- ・ 経済的に困窮する家庭の生徒のスポーツ活動を支援するため、各地方自治体や地域において、困窮する家庭に対するスポーツに係る費用の補助や、地元企業からの寄付等による基金の創設などの取組みを進めることが考えられるのではないか。このような取組みに対して、国からも支援を行う必要があるのではないか。